

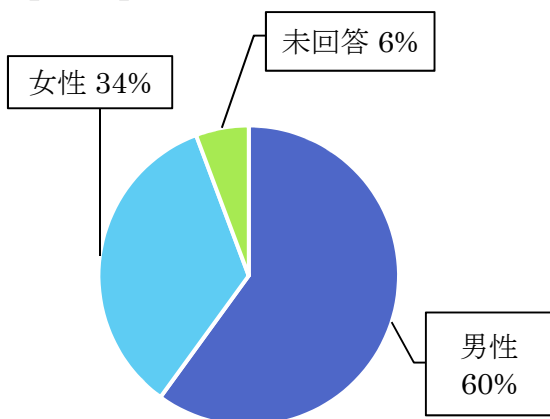
# ★ 来場者アンケート集計結果 ★

## 公共施設のあり方を考えるシンポジウム2016

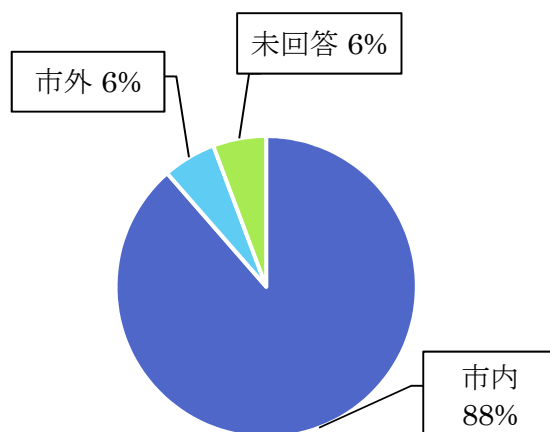
～将来を見据えて、いま考えよう！未来に引き継ぐ公共施設～

- 開催日時：平成28年10月1日（土）13時30分～16時15分
- 会場場所：日光市役所本庁舎3階正庁
- 来場者数：48名
- 回答者数：35名（回答率73%）

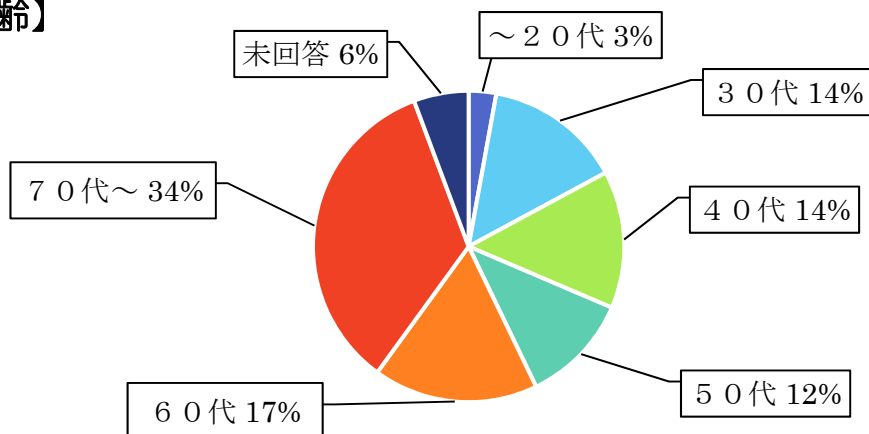
### 【性別】



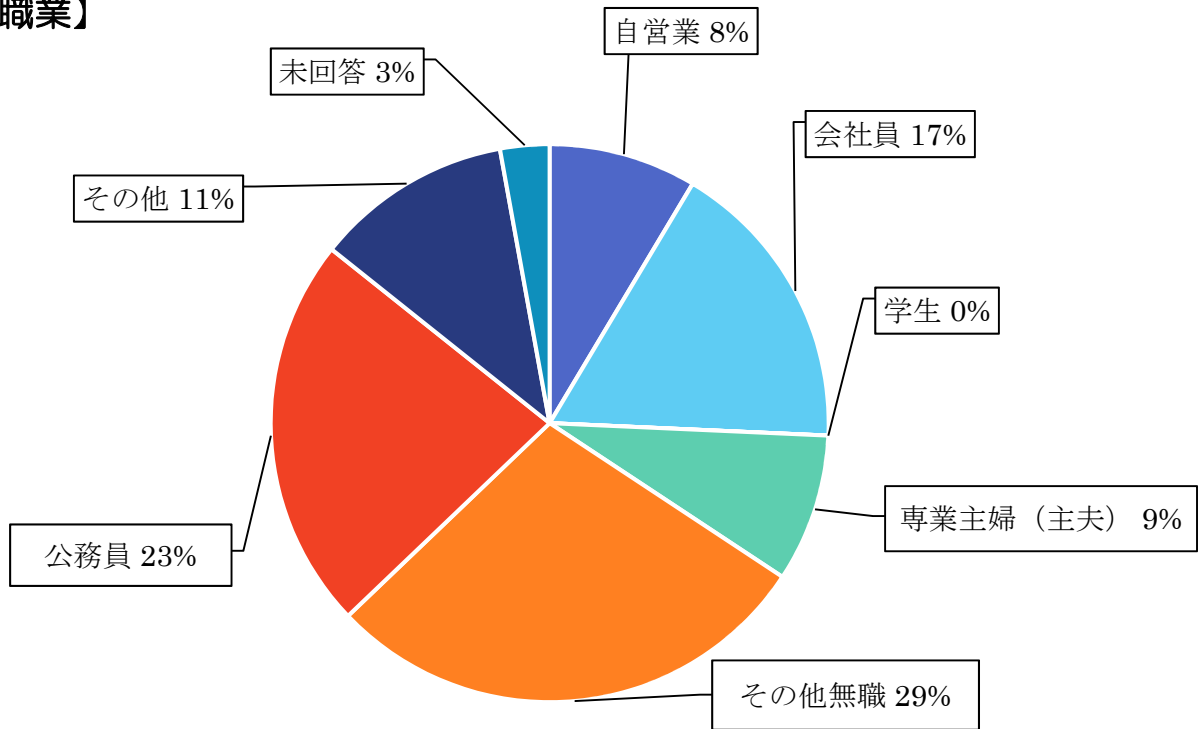
### 【お住まい】



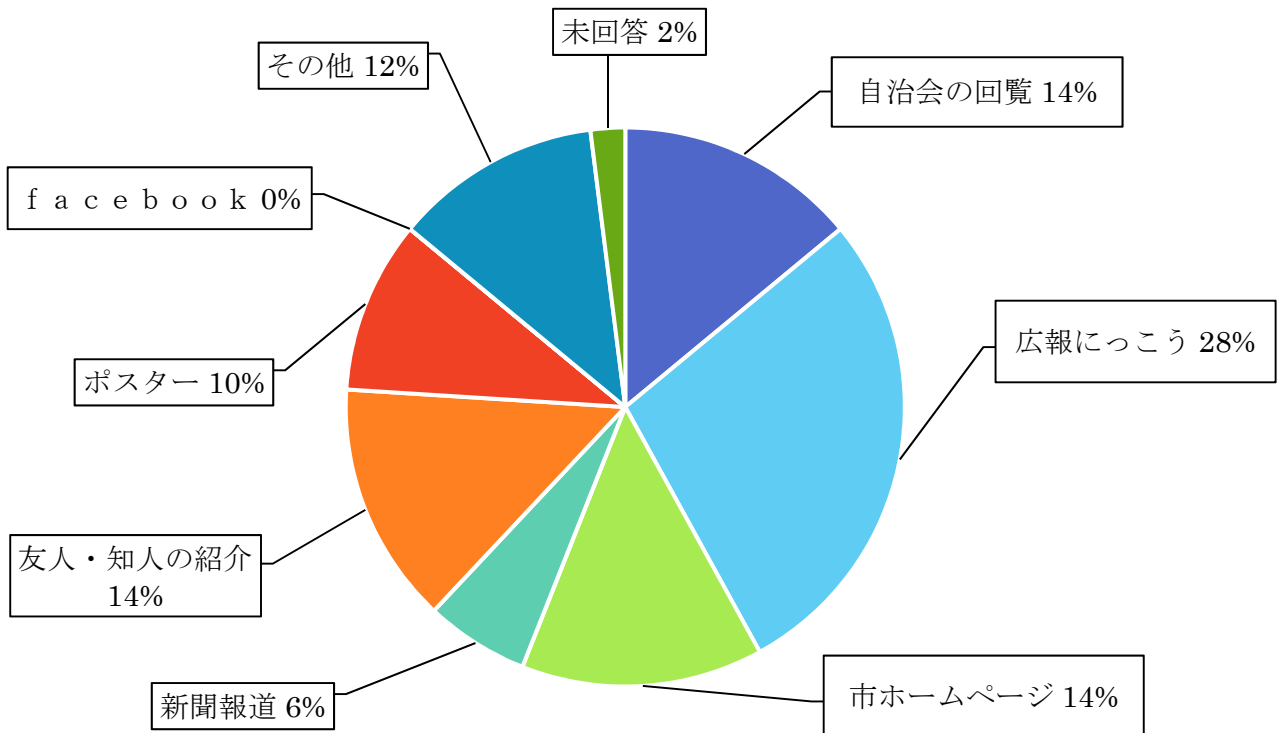
### 【年齢】



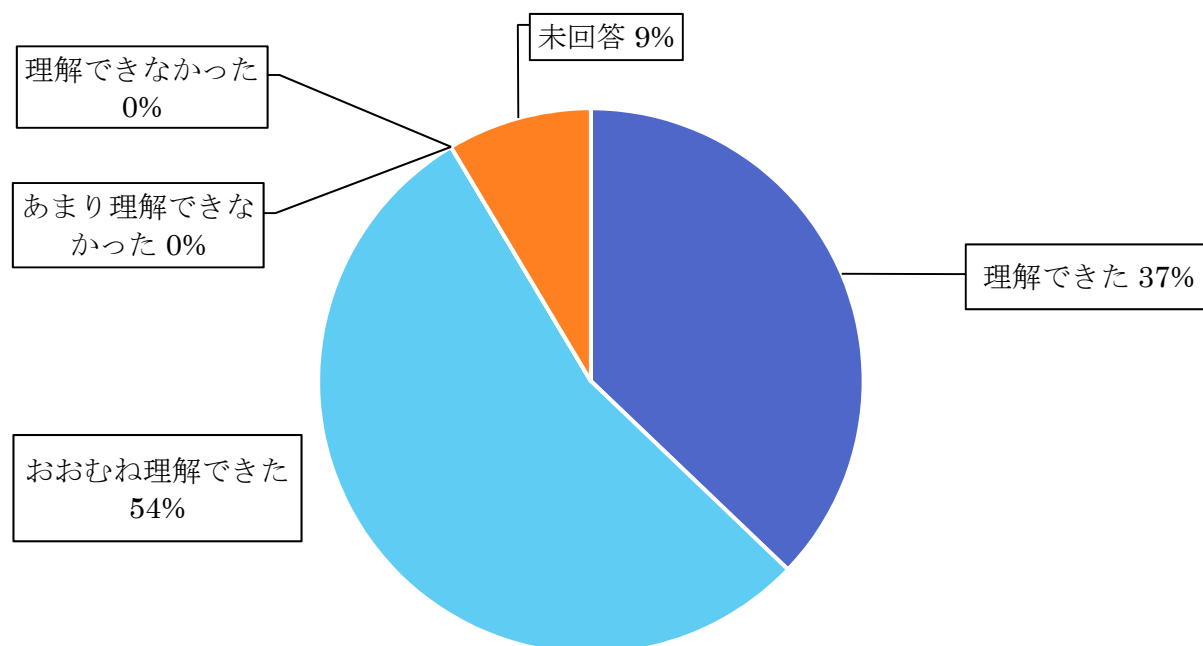
【職業】



【問1】 このシンポジウムをどこで知りましたか。



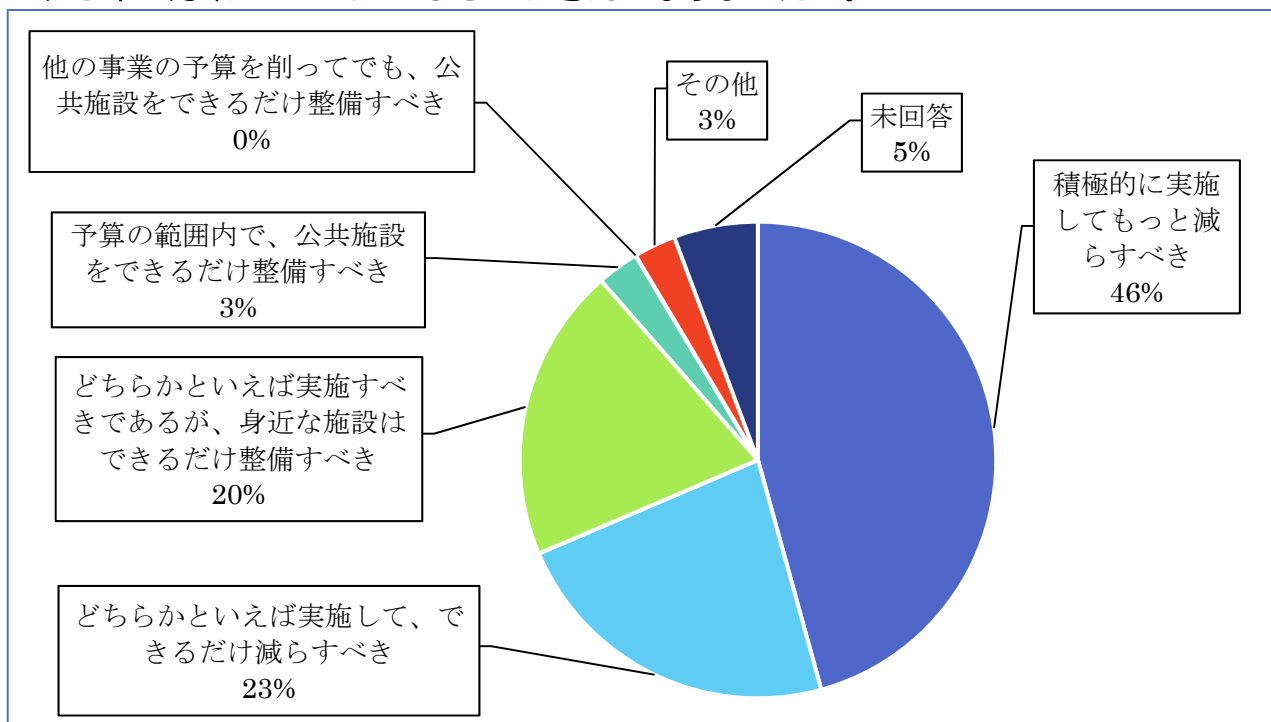
## 【問2】 シンポジウムの内容はいかがでしたか。



## 【問3】 シンポジウムに参加されて、特に印象に残った言葉をお書きください。

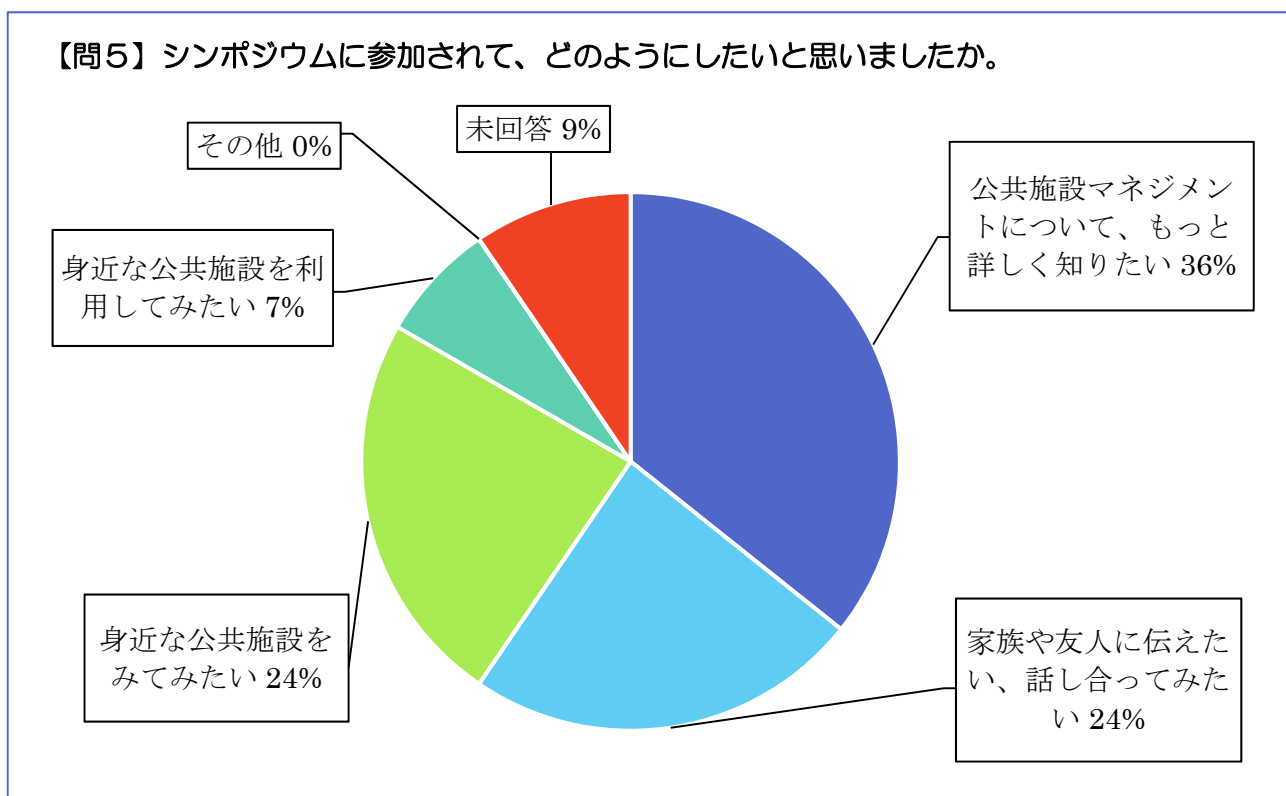
- ・日光市が保有する公共施設の数に634施設、実行計画対象施設数は339施設
- ・スマートシュリンク（賢く収縮する）
- ・子や孫、ひ孫の世代に負担を残さない
- ・建設した当時の住民の思いは残したいと思うが、利用面やコスト面等を考慮すると仕方ない状況
- ・量から質への価値の転換
- ・維持管理費の不足
- ・行政だけの評価で計画を立てるのは危険性がある、市民を入れた検討意見会を設けて実行計画を実施すべきである
- ・将来を考えて統廃合を進めて行うべきであるが、日光という観光都市としては、インフラの整備について充分にやっておくべきであり、縦割行政の調整が問題となる
- ・市民協働と公民連携の推進
- ・施設の維持でなくサービスの維持
- ・必要なサービス（施設）の選択をする時が来た
- ・このままだと大変なことになってしまう
- ・広域連携、マネジメント、老朽化、統廃合、複合化、多機能化

【問4】市では公共サービスの質の向上のために、公共施設の統廃合や機能の複合化・多機能化による総床面積の削減や長寿命化、まちづくり、民間活力の活用、受益者負担などの視点から方策を検討しています。今回、シンポジウムに参加されて、公共施設に関するこれら市の方策についてどのようにお考えになりましたか。

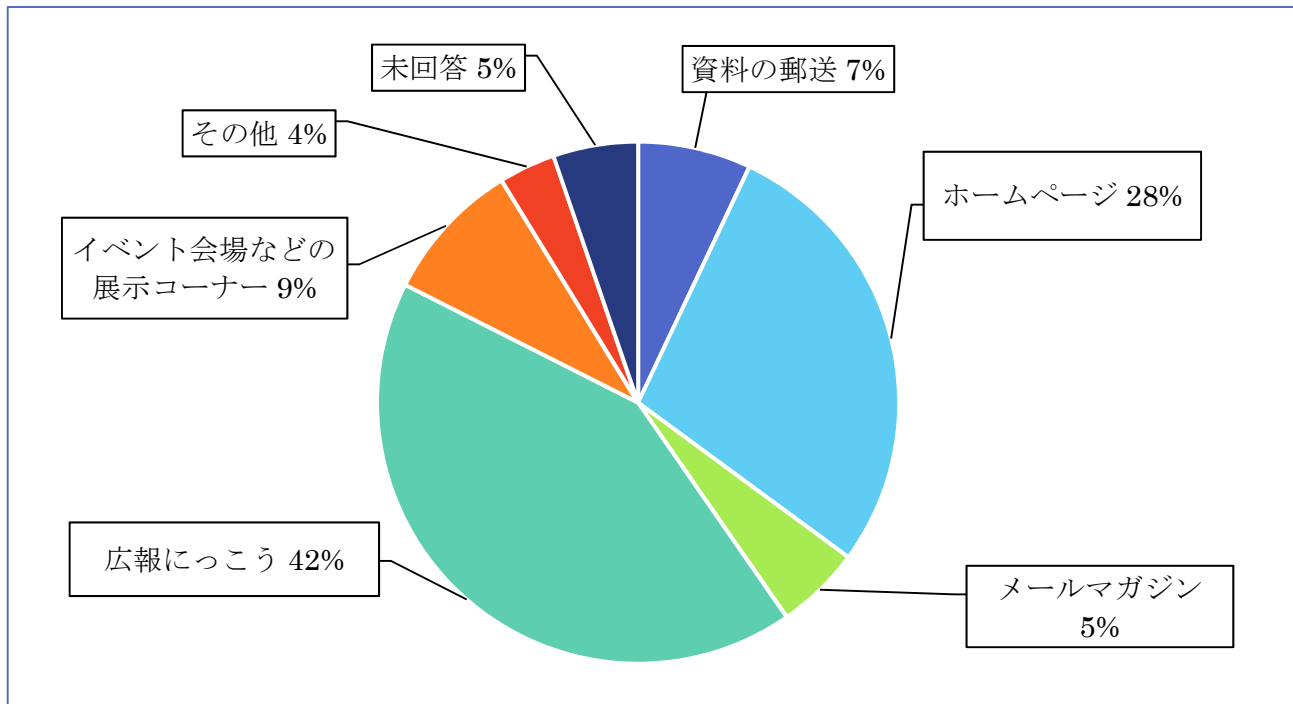


(その他意見) 縮小、統合、地域活性化に力を入れてほしい

【問5】シンポジウムに参加されて、どのようにしたいと思われましたか。

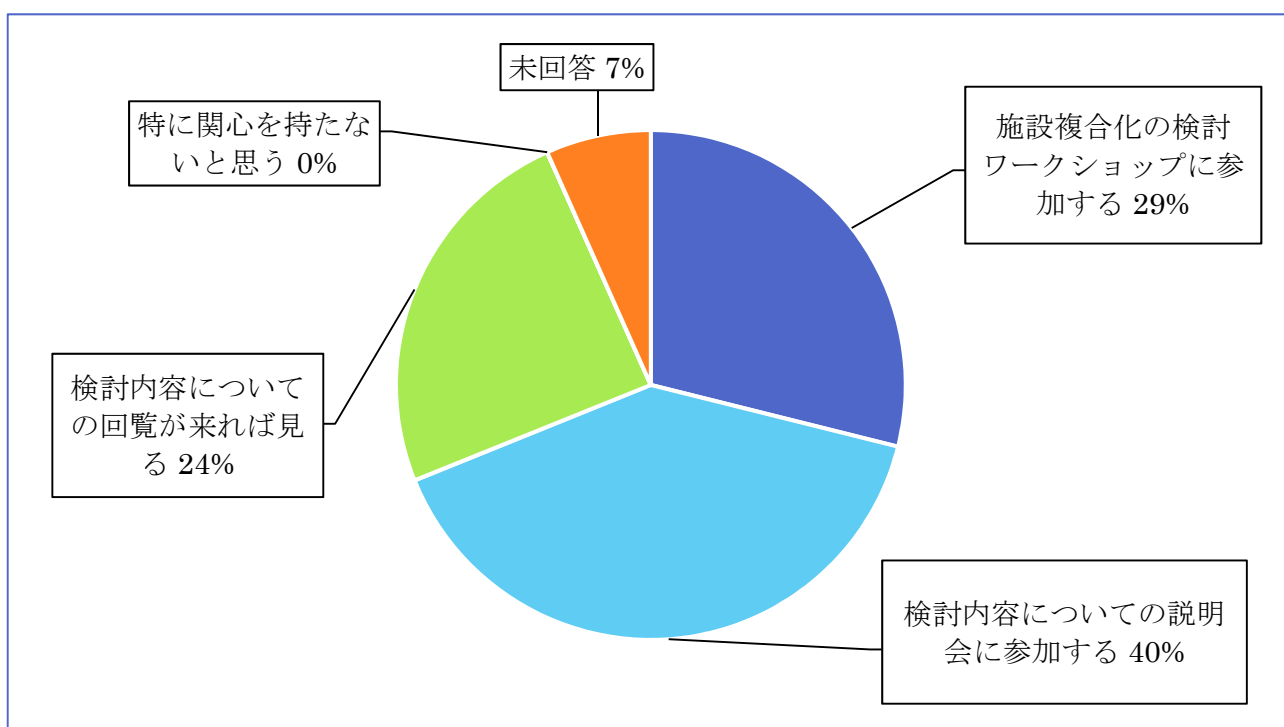


【問6】公共施設マネジメントについて、市民の皆さまにお知らせするものとして、以下のようなものがあります。ご興味があるものをお選びください。（複数回答可）

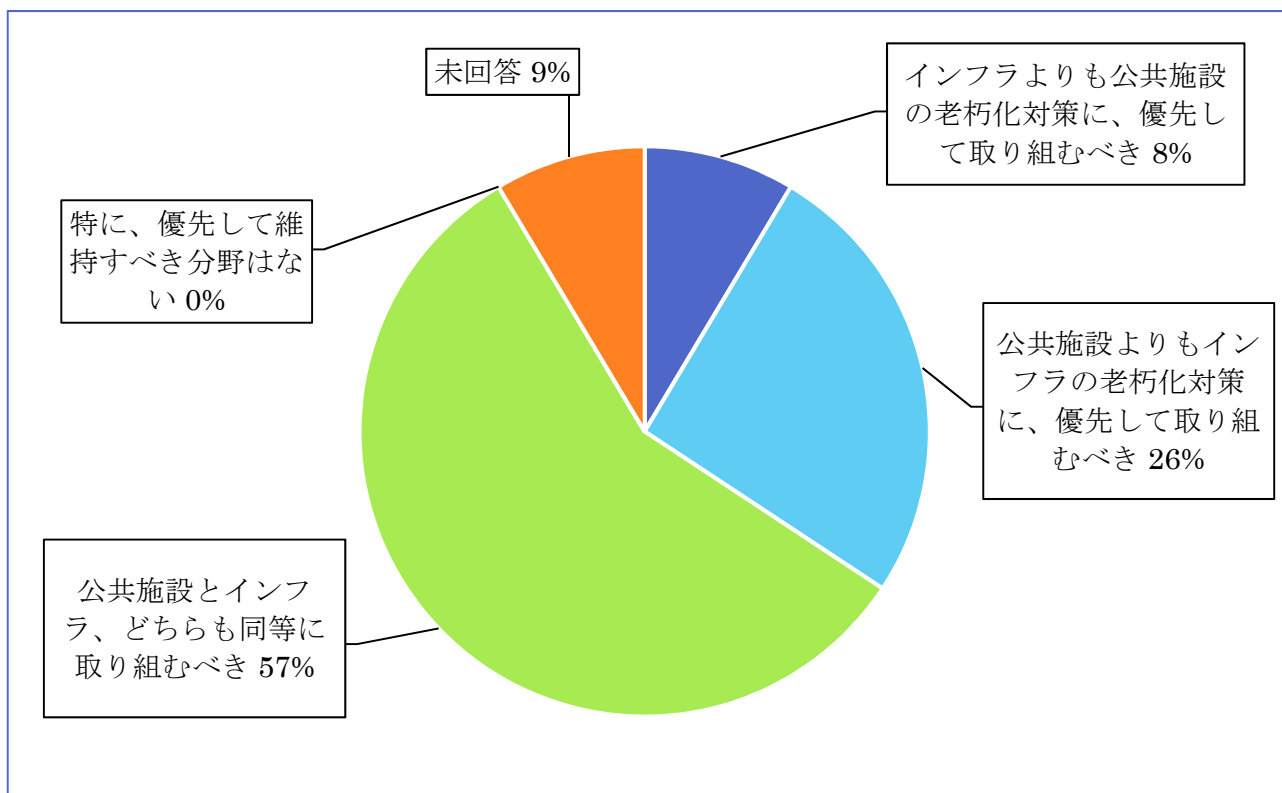


(その他意見) 出前講座、ワークショップ

【問7】公共施設マネジメントの取組の一つとして「施設複合化」があります。お住まいの近くの公共施設で複合化の検討が始まったと仮定した場合、どのような関わり方ができると思いますか。（複数回答可）



【問8】市では、公共施設の他にも、多くのインフラ（道路・橋りょう・河川・公園・上水道・下水道・ガス管等）を保有しており、これらインフラ資産も公共施設と同様に老朽化の問題を抱えています。今後、公共施設とインフラの老朽化対策にどのように取り組むべきだと思いますか。



【問9】その他、ご意見や感想がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・地域によって市民へのサービスの質に差があってはならないと思う。
- ・一人でも多くの人に理解してもらい、関心を持つことが大切だと感じた。
- ・市民からの意見や要望を聞いて対策を進めて行くべきである。
- ・イベント会場での開催や学習会、話し合いの場を設けるなど、市民が参加しやすいようにしてほしい。
- ・若い世代の参加者が少ないので、若い方に魅力のある市にならないといけない。
- ・子育て世代の意見を反映してほしい。
- ・少子高齢化や人口減少による減収など、しっかり認識して整備することが必要だと思った。
- ・とても大変なことだと思った。
- ・人口減少に対する運動や、実行計画の経過などが分かるよう公開してほしい。

★ 他に、日光市の将来を考えた意見や素直な感想をたくさんいただきました。★  
★ 今後の参考として活かしたいと思います。ありがとうございました！ ★